

- 熊取町では、町有林を適正に維持管理するため、樹木の伐採等を実施する方針。
- 令和５年度においては、基金より繰入れのうえ、枯木の伐採を実施。
- 令和５年度譲与分については、基金へ全額積立。

□ 事業内容

１．伐採等による森林整備の実施

- ・ 町有林において、枯木の伐採を実施

【事業費】 2,310千円（全額譲与税）

【実績】 枯木伐採 32本

□ 取組の背景

- ・ 本町管理の町有林に繁茂している樹木について、枯木の排除、樹木の健全育成の促進、景観の維持等を目的に良好な状態となるよう伐採を行った。



（作業前）



（作業後）

□ 工夫・留意した点

- ・ 健全な樹木への影響を考慮し、業務を実施した。

□ 取組の効果

- ・ 伐採した樹木の周りに日が差し込むようになったり、下草等植生する環境が整うことで、町有林の再生に寄与した。

◇ 基礎データ

①令和５年度譲与額：5,056千円		②私有林人工林面積（※１）：107ha	
③林野率（※１）：27.6%	④人口（※２）：43,763人	⑤林業就業者数（※２）：1人	

※１：「2020農林業センサス」より、※２：「R2国勢調査」より

- 熊取町では、公共建築物における備品及び消耗品の購入にあたっては、可能な限り木材を使用した製品を導入する方針。
- 令和5年度においては、基金より繰入れのうえ、令和6年4月に開館する公民館と文化ホールの共用スペースに木材製品を広く活用することで、木材利用の普及・啓発を図った。

□ 事業内容

公民館・町民会館整備事業における備品購入費

- ・ 公民館及び文化ホールにおいて、原材料に府産材（南河内産材）を使用したイス、テーブル、ベンチを購入した。

【事業費】90,365千円（うち譲与税7,403千円）

（譲与税は、木製家具類の購入に係る費用に全額充当）

【実績】

- ・ 公民館：木製イス26台、テーブル8台（4,895千円）
- ・ 文化ホール：木製ベンチ9台（2,508千円）

□ 取組の背景

本町では、令和4年度より公民館の大規模改修工事と文化ホールの新築工事が併せて行われており、令和6年4月の開館に向けた必要備品の整備についても同時に進めていた。

住民の注目度が高く、町内外問わず多数の利用者が見込まれる両施設については、普及・啓発効果が大きいとの判断から森林環境譲与税基金を財源に木製家具を整備するに至った。

□ 工夫・留意した点

- ・ 府内産木材の活用にあたっては、事前に森林組合と利用可能な木材の種類や使用量、納期等について調整を行った。
- ・ 購入品については、杉材の特徴である木目の美しさを活かした製品を選定した。

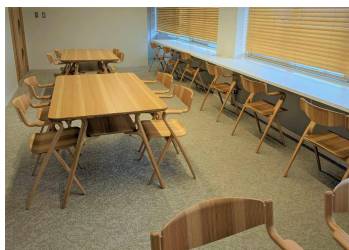
□ 取組の効果

- ・ 特徴のある木目模様や形状を有する家具類は、施設利用者からの評判が良く、木材利用の啓発に寄与している
- ・ 公民館の木製家具を設置したスペースは、木の香りをを感じる落ち着いた空間となっており、施設利用者の休憩場所としてのみならず学生等の自習の場としても幅広く利用されている。
- ・ 文化ホールのエントランス部分は、床材にフローリングと天井へは木製ルーバーが採用されており、木製ベンチの設置により統一感と重厚感のある空間となっている。

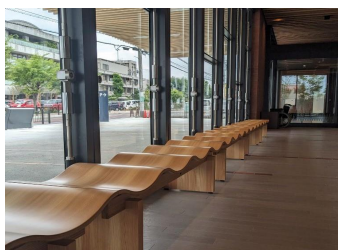
◇ 基礎データ

①令和5年度譲与額：5,056千円		②私有林人工林面積（※1）：107ha	
③林野率（※1）：27.6%	④人口（※2）：43,763人	⑤林業就業者数（※2）：1人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より



（公民館の木製イスとテーブル）



（文化ホールの木製ベンチ）



（文化ホールの受付）